

科目名 (Eng)	工学セミナー(Engineering Seminar)									
担当教員	電気工学科 全教員									
対象学年等	学科・専攻・学年		授業期間・区分・単位数・時間数				分野	形態	学修単位科目	
	電気工学科	4	後期	必修	1	30	専門	C		
目標基準との対応	福島高専の教育目標との対応：(D-3). (D-4). (D-5). (E-4). (F-1). (F-2). (F-3). 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：3). 4). 5). 6)									
	JABEE基準1(1)との対応：(d)-(2)-b). (d)-(2)-c). (d)-(2)-d). (e). (f). (g). JABEE 必修科目									
授業の概要と方針	学生が選んだ研究室で、5年から始まる卒業研究に備え。担当教員の指導により学生の興味と好ましい資質の伸展をはかり、探索的な学習を通じてデザイン能力と問題解決能力を育成する一助とする。									
到達目標	①各自選んだ研究テーマについて深く理解する。 ②セミナー、討論を通して、問題解決能力やプレゼンテーション能力を身につける。									
授業計画										
後期	<p>学生の希望を基に各教員に配属し、各研究室において5年生の卒業研究につながる、下記のような電気工学、電子工学、情報工学分野のテーマに従って文献購読を含むセミナーを進める。最後に、テーマごとに報告書を作成して提出する。</p> <p>主なテーマには以下のようなものがある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子回路設計の基礎 ・反磁性材料の電気磁気物性の基礎 ・誘電体セラミックスの電氣的性質 ・プラズマ物理 ・電気磁気学の基礎 ・フォールトトレラントシステム ・リモートセンシング ・アルゴリズムと計算量の基礎 									
試験について	試験は実施しない。									
評価方法	各研究室におけるセミナーの報告書の内容を100%で評価する。									
教科書	各テーマについて指導教員より指示がある。									
参考書	各テーマについて指導教員より指示がある。									
関連科目	創作実習、卒業研究									
履修上の注意	受動的な学習態度ではなく、問題を自ら探して見つけるような積極的かつ自発的な取り組みが特に望まれる。									